

「再教育」不合格に抗議する

東海労組合員が、到着監視不履行を理由に「再教育」を受けさせられ、3回の試験の結果「不合格」を通告された。わたしたち東海労は、教育なき「再教育」と恣意的な判定による不合格に全身から湧きでる怒りで抗議する。

落とすための「再教育」反対

組合員は、到着前に運転台で乗務報告書の記入内容の確認をしていたため到着後のドア開扉を10秒ほど遅らせた。この事象について組合員は事実のままを報告した。しかし、営業科長は報告に対して「つじつまが合わない、運転台で寝ていたのならつじつまが合う」と強引に「寝ていて列車監視を怠り、ドア開扉が遅れた」という内容の時系列等報告書の作成を迫ってきた。

組合員は、寝ていたわけでも意識がもうろうとしていたわけでもない、したがって科長の言うような事実にもとづかない内容では時系列等報告書は書けないことを明らかにし、事実どおりの記載をした。さらに対策として、自動放送が入ったら監視体制をとることも約束した。したがって「再教育」の必要がないにもかかわらず「見極め試験」「再教育試験」を強行した。

組合員は、教育なき「再教育」のため自宅でも勉強をし、さらに営業助役から「ここを勉強しておくように」というアドバイスも受けながら試験に挑んだ。しかしアドバイスは的はずれであり「不合格」と判定され車掌として乗務させないと通告された。

わたしたち東海労は、あらためて教育なき「再教育」に反対し、恣意的判定による「不合格」に抗議する。

ただちに車掌として乗務させろ